



ウィリアム・E・グレイソン

2025年大阪・関西万博 米国パビリオン代表（大使）



ウィリアム（ビル）・E・グレイソン大使は、2025年大阪・関西万博の米国代表として米国パビリオンを率い、万博における駐日米国政府代表を務める。

現在はサバティカル休暇中であり、現職ではRBCウェルスマネージメントのザ・グレイソン・グループ代表取締役兼創設者として、起業家、主要一族、基金、財団への助言を担っている。以前には、アライアンス・バーンスタインでファミリー・プラクティス部門を立ち上げ、同部門のナショナル・ディレクター職を務めた他、JPモルガン、バンク・アメリカ・セキュリティーズ、国内の主要ヘッジファンドでも同様の上級職経験を有する。また、法律事務所の訴訟弁護士ならびに企業や政府の法務顧問を10年間務めた。

長年にわたり公職に携わり、これまでに5つの政権で大統領の任命を受け、陸軍省やホワイトハウス・フェローシップ大統領委員会での要職や、プレシディオ・トラストの会長などを歴任。また、議会上院からは、駐エストニア米国大使に任命された。また、さまざまな投資委員会や評議委員会の委員を務めており、代表的なものとして、研究者のためのウッドロウ・ウィルソン国際センター、国立公園基金、ハワイ大学財団、カリフォルニア大学バークレー校公共政策研究所がある。

セントイグナチオ高等学校、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、サンフランシスコ大学法科大学院を卒業。ハーバード大学ケネディ行政大学院より防衛政策修了書を授与されている。妻のローリーとカリフォルニア州サンフランシスコならびにランチョ・ミラージュに居住しており、3人の娘と保護犬を家族に持つ。